

大阪湾漁場環境速報

2020年 4月 7日発行
兵庫のり研究所

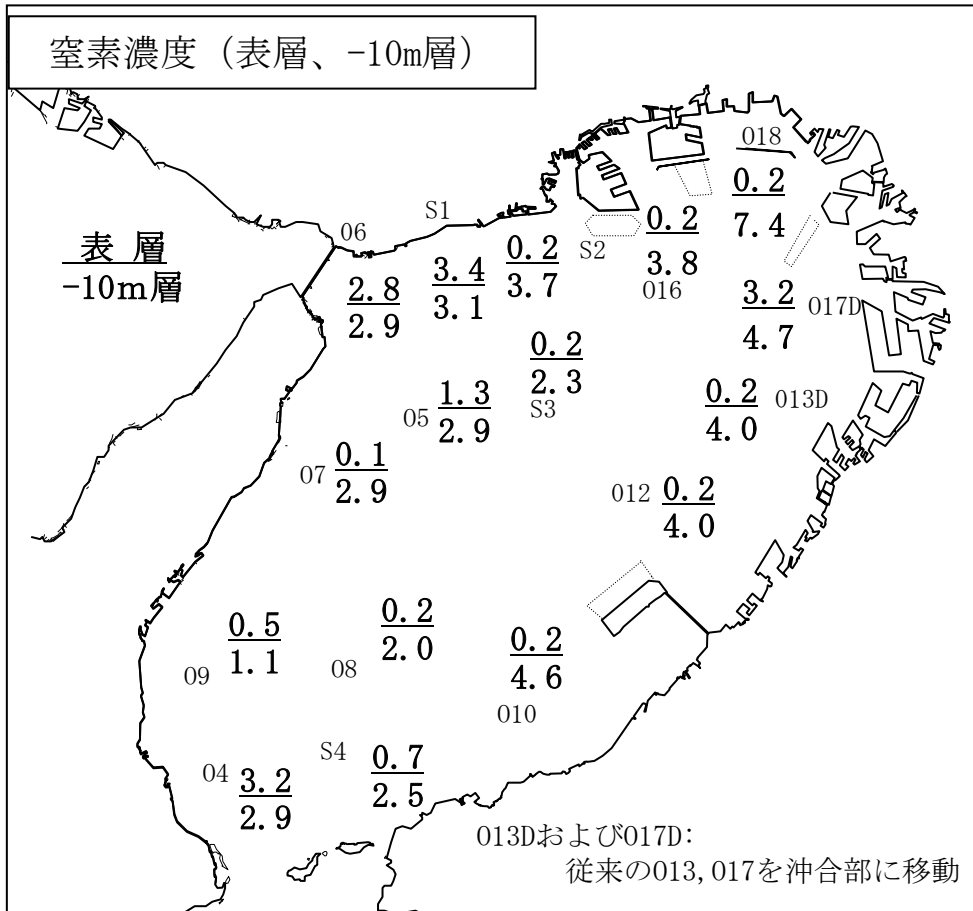
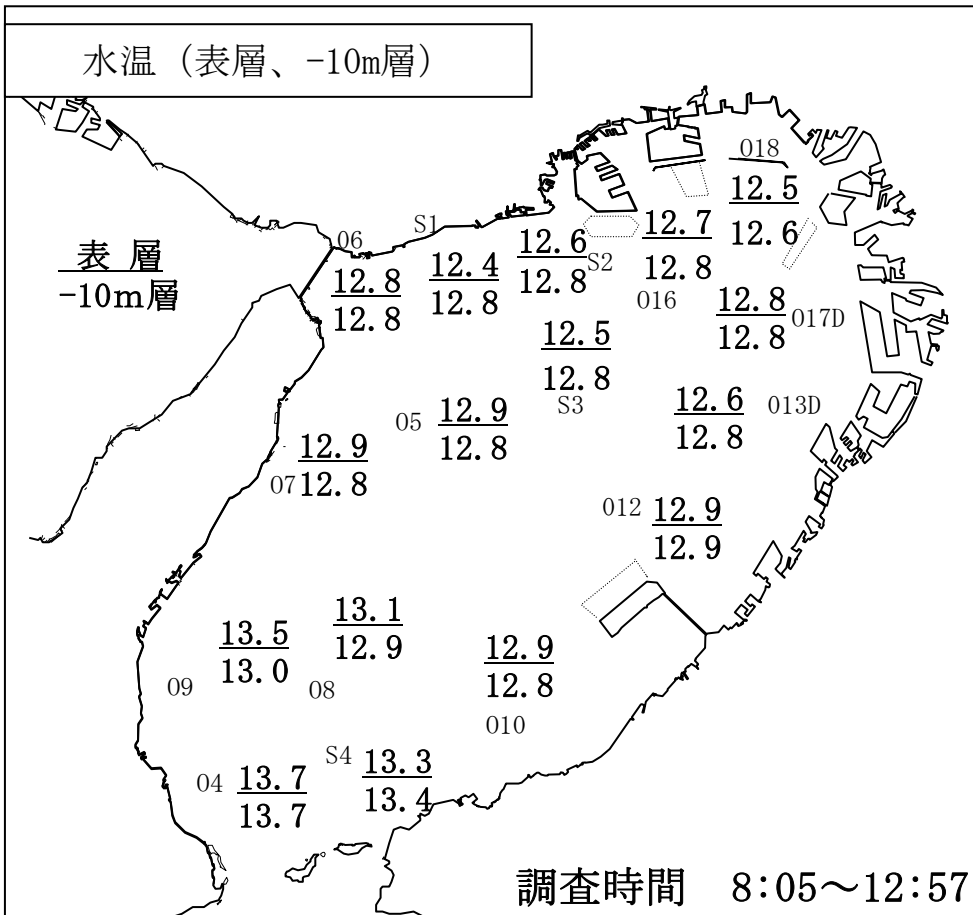
スケルトネマとニッチアを優占種として複数の小型珪藻が海峡部（明石・紀淡）を除き湾全体で多く発生しています。栄養塩は、海峡周辺域と湾奥の一部地点以外の表層において窒素・リンとも低い値となっていますが、-10m層の窒素は2~4 $\mu\text{g-at/L}$ 程度となっています。

(水温) 表層は湾内12~13°C台で、平均12.9°C。平年比約0.8°C高い。
-10m層も平均12.9°C（平年比+1.3°C）。

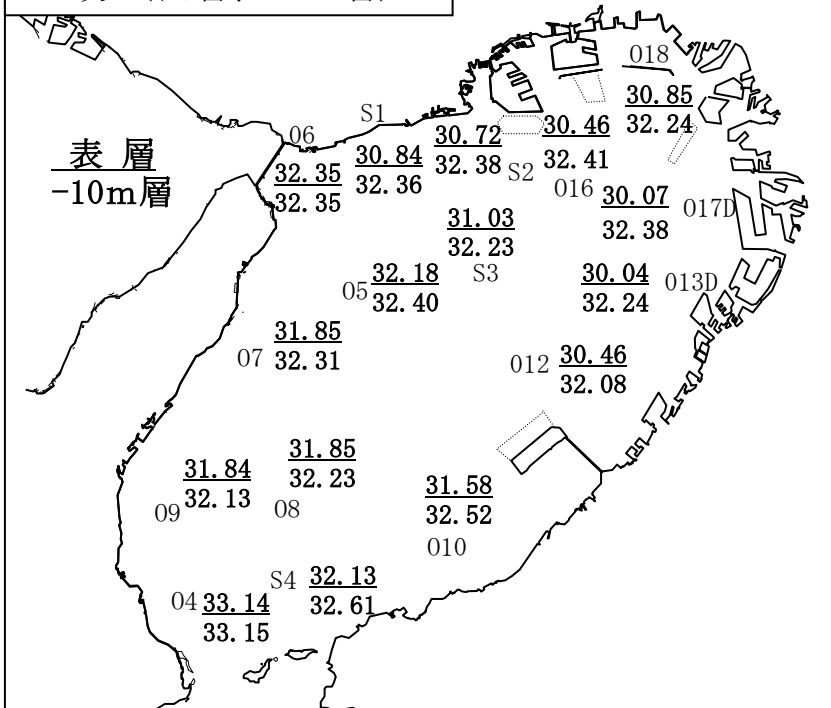
(塩分) 表層平均31.57psu(平年 31.24)。-10m層平均32.40psu(平年 32.11)。
(栄養塩、他) 珪藻はスケルトネマとニッチアが優占的に発生しており、キートセロスやリゾソレニアも確認される。発生量は湾奥を中心に強い赤潮として、海峡部周辺以外の海域においても弱い赤潮として確認されており全体的に多い状況。表層の栄養塩において窒素が1 $\mu\text{g-at/L}$ 以下、またリンも低い値を示した地点が殆どであった。先月末~今月初めのまとまった降雨により栄養塩の供給が見られたが、ここ数日穏やかな天候が続いたことでこれら小型珪藻が急増殖したものと考えられる。

上段 (今回値)	2020年 4月 6日調査
中段 (昨年値)	2019年 4月 3日調査
下段 (平年値)	4月上旬

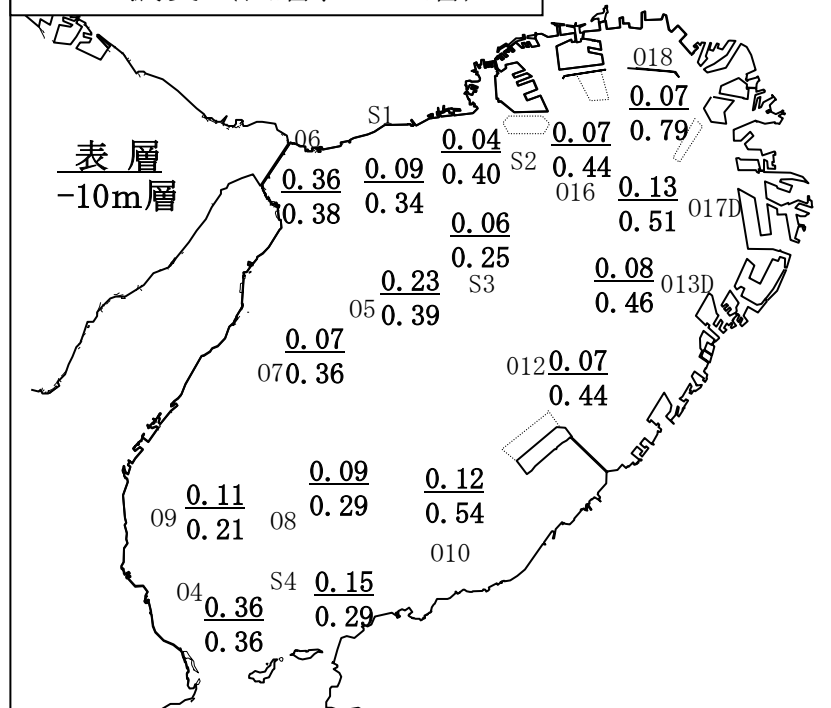
調査地点	水温 (°C)	塩分 (psu)	三態窒素 ($\mu\text{g-at/L}$)	リン ($\mu\text{g-at/L}$)
04	13.7	33.14	3.2	0.36
	12.7	32.54	3.5	0.29
05	12.9	32.18	1.3	0.23
	12.4	32.46	1.8	0.25
06	12.8	32.35	2.8	0.36
	12.0	32.43	2.1	0.24
07	12.9	31.85	0.1	0.07
	12.5	32.56	2.0	0.26
08	13.1	31.85	0.2	0.09
	12.7	32.62	0.7	0.12
09	13.5	31.84	0.5	0.11
	13.0	32.64	0.7	0.13
010	12.9	31.58	0.2	0.12
	12.4	32.09	0.5	0.06
012	12.9	30.46	0.2	0.07
	12.1	31.53	0.8	0.05
013D	12.6	30.04	0.2	0.08
	12.1	30.77	0.7	0.07
016	12.7	30.46	0.2	0.07
	11.6	31.19	0.3	0.05
017D	12.8	30.07	3.2	0.13
	12.3	30.22	6.8	0.08
018	12.5	30.85	0.2	0.07
	11.9	23.46	12.6	0.20
S1	12.4	30.84	3.4	0.09
	11.8	30.46	3.8	0.15
S2	12.6	30.72	0.2	0.04
	11.6	31.93	0.6	0.06
S3	12.5	31.03	0.2	0.06
	11.8	31.70	1.4	0.16
S4	13.3	32.13	0.7	0.15
	12.5	32.40	2.2	0.21



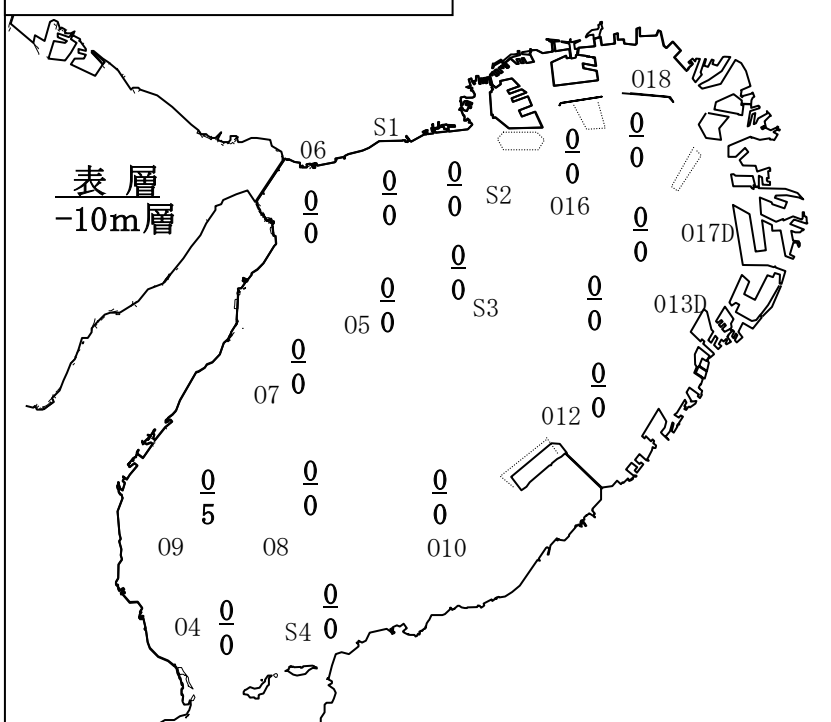
塩分 (表層、-10m層)



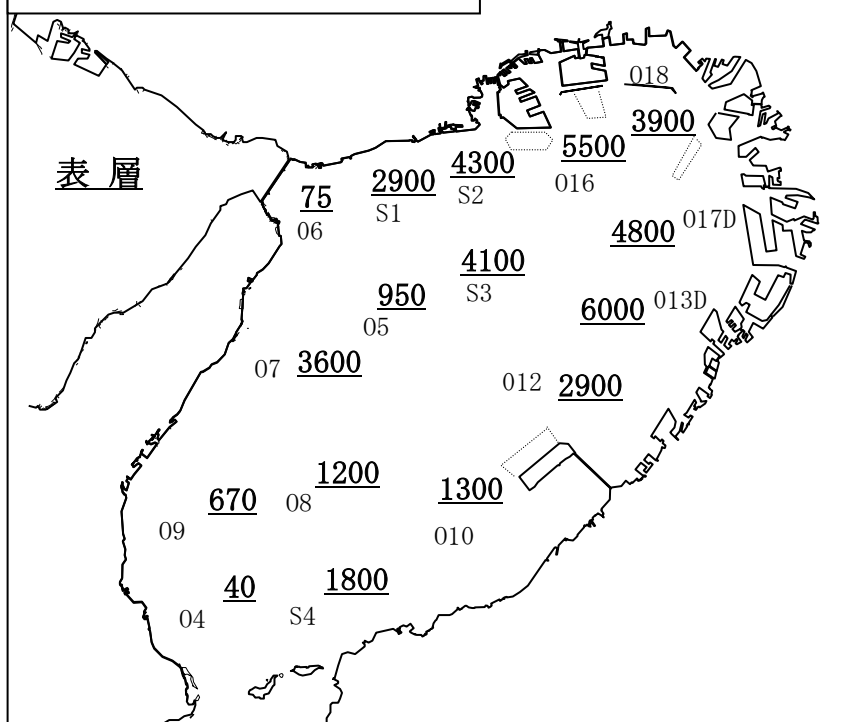
リン濃度 (表層、-10m層)



コシノディスカス (細胞/L)



スケルトネマ (細胞/ml)



ユーカンピア (細胞/ml)

